

植物由来のバイオマス原料を採用し環境に配慮した12桁電卓3モデルを発売
～キヤノンの電卓事業60周年～

キヤノンマーケティングジャパン株式会社（代表取締役社長：足立正親、以下キヤノンMJ）は、キヤノンの電卓として初めて植物由来の原料を採用し環境に配慮した12桁卓上電卓“HS-1220TUB”と12桁ミニ卓上電卓“LS-1220TUB”を2月下旬より発売します。キヤノンの電卓は、1964年10月に電卓の第一号機を発売してから2024年10月で60周年を迎えます。これまでご愛用いただいたお客さまに感謝の意を表するとともに、電卓を通じて、エシカル消費の促進や持続可能な社会の実現に貢献することを目指します。



HS-1220TUB



TS-1220TUB



LS-1220TUB

キヤノンは1964年10月に、事務機市場参入の先駆けとなった世界初のテンキー式卓上電子計算機「キヤノラ130」を発売しました。以来、常にお客さまの用途や使い勝手に寄り添った機能・製品を開発してきました。キヤノンの電卓は60年間にわたって多様なラインアップを拡充し、ビジネスシーンや日常生活などさまざまな場面で活躍するツールとなりました。

キヤノン電卓の60年



このたびキヤノンMJは、キヤノンの電卓として初めて植物由来の原料を使用し環境に配慮した12桁卓上電卓“HS-1220TUB”“TS-1220TUB”と12桁ミニ卓上電卓“LS-1220TUB”を発売します。キヤノングループが掲げる企業理念「共生」のもと、キヤノンMJグループは環境問題を重要な経営課題と捉えており、サステナビリティ経営を推進しています。このたび発売する3モデルはすべて、植物由来の原料を利用して作られるバイオマスプラスチック^{※1}と、再生プラスチック^{※2}を採用しています。エコマーク^{※3}・バイオマスマーク^{※4}の認定を取得しているほか、環境省が定めるグリーン購入法^{※5}にも適合しており、製造時の環境負荷を低減しエシカル消費^{※6}を促進します。環境に配慮した製品をお客さまにご提供することにより、持続可能な社会の実現に貢献します。このほか、単位が大きい数字の認識や入力に便利な千万単位機能など高い利便性や機能性を備えています。

キヤノンの電卓をご愛顧いただいているお客さまに感謝を表するとともに、これから先もビジネスパーソンや個人のお客さまのパートナーとして、仕事や学習の効率化を支援し、快適で豊かな生活の実現に貢献してまいります。

製品名	希望小売価格(税別)	発売予定日
HS-1220TUB	オープン	2024年2月下旬
TS-122TUB	オープン	2024年2月下旬
LS-122TUB	オープン	2024年2月下旬

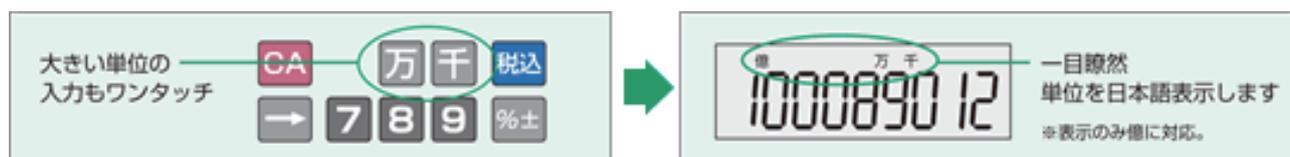
- ※1. トウモロコシなど植物資源を原料につくられるプラスチック。バイオマスは焼却してもCO₂の増減に影響を与えないカーボンニュートラルの性質を持ち、地球温暖化の防止や化石資源への依存度低減に貢献する。
- ※2. 廃棄されたプラスチックを原料としており、再利用することで石油などの天然資源の消費を抑制できる。
- ※3. 公益財団法人日本環境協会が定める、「生産」から「廃棄」にわたるライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品につけられる環境ラベル。
- ※4. 一般社団法人日本有機資源協会が定める、生物由来の資源(バイオマス)を活用し、品質及び安全性が関連する法規、基準、規格等に適合している環境商品の目印。
- ※5. グリーン購入とは、製品やサービスを購入する際に、必要性をよく考え、環境負荷ができるだけ少ないものを選んで購入すること。グリーン購入法(国等による環境物品等の調達に関する法律)は2000年に制定され、国等の機関にグリーン購入を義務づけるとともに、地方公共団体や事業者・国民にもグリーン購入に努めることを求めている。
- ※6. 人や社会、地球環境、地域に配慮した商品を選択し購入すること。

-
- 報道関係者のお問い合わせ先 : キヤノンマーケティングジャパン株式会社 広報部 03-6719-9093(直通)
 - 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター 0570-04-0025
 - キヤノン電卓ホームページ : <https://personal.canon.jp/product/business-tool/calc>

〈主な特長〉

1. 共通

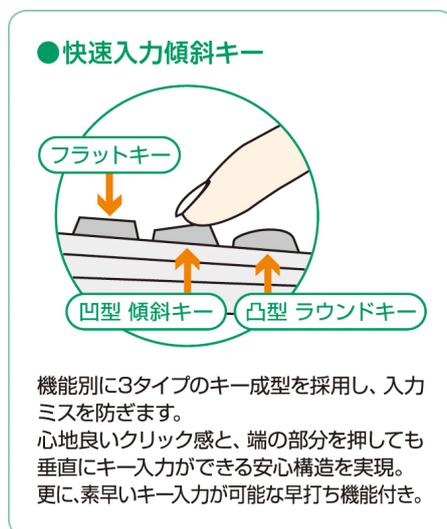
- 公益財団法人日本環境協会が定めるエコマーク認定を取得(認定番号 11135001)
- 一般社団法人日本有機資源協会が定めるバイオマスマーク認定を取得(認定番号 230206)
- 単位が大きい数字の認識や入力に便利な千万単位機能を搭載



千万単位機能

2.HS-1220TUB

- オフィスや店舗での会計など実務利用に適したデスクトップサイズの12桁卓上電卓
- 文字が大きく見やすい特大画面ディスプレイ
- 心地よいクリック感
- 端の部分を押しても垂直にキー入力ができる快速入力傾斜キー^{※1}を搭載し、早打ちでも打ち間違いを最小限に抑制



※1. 数字の1～9までは凹型傾斜キー、ゼロ(0)とツーゼロ(00)は凸型ラウンドキー、その他はフラットキーと、機能別に3タイプのキー形状を備えている。

3.TS-122TUB

- オフィスや店舗での会計など実務利用に適したデスクトップサイズの12桁卓上電卓
- 液晶画面の角度を任意に調整できるフリーアングルチルト機能を搭載



〈主な仕様〉

仕様／モデル名	HS-1220TUB	TS-122TUB	LS-122TUB
演算桁数	12桁	12桁	12桁
ディスプレイ	傾斜角つき特大表示	フリーアングルチルト大型表示	傾斜角つき大型表示
オートパワーオフ	7分	7分	7分
計算状態表示	あり	あり	あり
電源	太陽電池＋内蔵電池 (CR2032 ^(注))	太陽電池＋内蔵電池 (CR2032)	太陽電池＋内蔵電池 (CR2032)
本体サイズ(mm)	179.5×130×37.5	167×108×22	148×107.5×31
本体重量(g) 電池を含む	208	172	132

〈キヤノン電卓の歴史〉

- 1964年10月 世界初のテンキー式卓上電子計算機「キヤノーラ 130」を発売。当時の販売価格は395,000円。
- 1976年8月 キヤノンの電卓として初めての薄型液晶表示器付き小型ポケット電卓「LC-1」を発売。
- 1980年2月 電卓として初めて漢字による単位表示「千万単位」を採用したカード型電卓「LC-4U」など3機種を発売。国内のお客さまの利便性を追求しており、億万千の位取りがひと目でわかる。
- 1981年8月 世界初の生活防水構造を採用したフルソーラー電卓「LS-1」を発売。防水防塵構造を備えた。
- 1985年10月 キヤノンの電卓として初めてバブルジェット方式プリンターを搭載した10桁プリンター電卓「BP1010-D」を発売。
- 1998年5月 キヤノンの電卓として初めて抗菌材を採用した12桁大型傾斜表示卓上電卓「HS-1200C」を発売。
- 1999年6月 新開発の大型ピュアグリーン表示を実現した12桁卓上プリンター電卓「MP120-DL」を発売。
- 2002年12月 キヤノンの電卓として初めて、PCに接続してテンキーとしても使用できるミニ電卓タイプの「LS-120TKシリーズ」手帳タイプの「LS-12TKシリーズ」を発売。PC周辺機器として、販売チャネルを大きく広げた。
- 2006年6月 リサイクル素材を使用した環境配慮型の12桁大型卓上電卓「TS-1200TG」など5機種を発売。キヤノン製コピー機の廃材を再利用した。
- 2008年7月 当時国内の電卓市場で初めて、電卓とテンキーを搭載したマウス「LS-100TKMシリーズ」を発売。折りたたみ式のボディに、電卓・テンキー・マウスの3つの機能を搭載。
- 2009年9月 優れた環境性能と美しいデザインを両立した12桁卓上電卓「X Mark I」を発売。太陽電池パネルを従来機種に比べ約2倍大型化しており、太陽電池のみで電源駆動が可能になった。
- 2010年4月 当時国内の電卓市場で初めてグリーン購入法に適合した18桁関数電卓「F-718SA」を発売。
- 2014年10月 電卓発売50周年を記念した12桁卓上電卓「KS-50TH」を発売。本体アルミプレートに50周年記念マークをレーザー印刷した特別カラーの限定モデル。
- 2023年7月 キヤノンの電卓として初めて抗ウイルス仕様を実現した12桁ミニ卓上電卓「KS-126WUV」・12桁卓上電卓「KS-1250TUV」を発売。
- 2024年2月 キヤノンの電卓として初めて植物由来の原料を使用し、環境に配慮した12桁卓上電卓「HS-1220TUB」「TS-122TUB」と12桁ミニ卓上電卓「LS-122TUB」を発売。

(注) 2024年2月21日更新：「HS-1220TUB」の電池の型番を修正しました。